

「技術選定の審美眼」のススメ

2021/09/09

松木 @勉強会: フロントエンドに強くなろう

新しい技術追ってますか？

新しい技術追ってますか？

- 課題：技術を追うのは大変（特に、フロントエンドは流行り廃りが数年で変化する）
 - 無限の時間があれば、新しいものの全て触ればよい。一方で現実には、時間は限られている。
 - 審美眼（イメージ的には選球眼）を持っていることが大切

from <https://fukabori.fm/episode/28>

審美眼を養うためには？

- 変わるもの、変わらないものを見極めるモチベーションは何か？
 - ベテランエンジニアの唯一のアドバンテージ
 - プログラマとしての可処分時間はどんどん減っていく

from <https://fukabori.fm/episode/28>

変化の予想はできないが、予測する力をどう 養えばよいか

振り子と螺旋

- 技術の変化の歴史は一見すると **振り子** に見える
- でも実は **螺旋** 構造。同じところには戻ってこない
- **差分** と、それを **可能にした技術** が重要
- 「それは既に20年前に通った道だ」は老害発言かもしれない
- それはそうと、変わらないように見える強固なものもある

from <https://speakerdeck.com/twada/worse-is-better-understanding-the-spiral-of-technologies-2019-edition?slide=10>

React: 最近のGame Changerの一つ

考えることを大きく減らした変化

- React
- 仮想 DOM により富豪的にデータを更新してもレンダリングコストの心配をしなくて良くなった
- サーバサイドでテンプレートを毎回レンダリングするのと同じ感覚でクライアントのコードを書ける
- データ更新の方向が一方通行なので状態が一意に定まり、混乱しない (Single source of truth)
- React により **手数は増えたが、心配は減った**

from <https://speakerdeck.com/twada/worse-is-better-understanding-the-spiral-of-technologies-2019-edition?slide=21>

まとめ

- なかなか時間がとれずに、潮流が追えない問題がある
 - これまでの変化と照らして、予測し、取捨選択する
 - そのためにも、軽くでもよいから「新しいものを触ってみる」時間を設けたい
- 詳しくは、twadaさんの [本編](#) をぜひ一読ください

余談

- generated by marp + Github Actions
 - 🖱️ <https://github.com/matsu-at-nttr/slides>
 - 「CI って何が便利なのか」「Github Actions入門したい」とかの参考になるかも？